

# テーマ2 「子どもを取り巻く環境の充実」

## 文教厚生常任委員会

### 《テーマ選定理由》

柏崎市第五次総合計画後期基本計画において重点戦略の一つに「子どもを取り巻く環境の充実」が掲げられている。どのようにしたら、出生率が上がり、安心して子育てができるか。そして、柏崎市の子育て施策が、他の自治体に引けを取らない先進的な取組となるにはどうしたらいいのか。

当委員会として、調査研究のメインテーマを「子どもを取り巻く環境の充実」とし、「地域で支える子育て環境」及び「インクルーシブ教育」に焦点をあて、市民の皆様とのテーマに沿った意見交換会では多くの声が寄せられた。中でも印象的であったのは、「我が町内には小学生が一人もいない」「子どもの声すら聞こえない」「遊園地があっても誰も利用しない」である。

一方で、「地域でしっかり見守りをしている」「どこの子だかは分かる」としたご意見など様々な声を頂いた。

以上を踏まえ、文教厚生常任委員会では、「子どもを取り巻く環境の充実」を令和6年12月までの調査・研究テーマとし、以下2項目を検討課題とした。

今後、「子どもを取り巻く環境の充実」を実現するために、皆様のご意見を参考にしつつ、政策提言の策定を目指すものである。

### ◆ 地域で支える子育て環境

### ◆ インクルーシブ教育\*

※ インクルーシブ教育とは、障害や病気の有無、国籍や人種、宗教、性別といったさまざまな違いや課題を超えて、全ての子どもたちが同じ環境で一緒に学ぶ考え方。

(日本財団ジャーナル 2024.01.25より引用)



令和5（2023）年 白山市視察



令和6（2024）年 江東区視察

# 活動報告

## 1 先進地視察

【令和5（2023）年10月31日（火）～令和5年11月2日（木）】

自治体	調査項目
石川県白山市	・ファミリーサポートセンター事業の利用状況や利用者の内訳、課題について ・白山市こどもの居場所みんなの食堂事業補助金の概要、フードバンクとの関連について など
石川県小松市	・小松市インクルーシブ教育システム構築モデル事業の実施による学力の定着向上の有無について、児童生徒の現場での変化について ・交流及び共同学習『合理的配慮』事例集について、個別の教育支援計画及び指導計画の詳細について など
富山県黒部市	・パパママサポートセンター「たんぽぽ」について、トラブルに対する協力会員への教育、研修の実施について ・赤ちゃんの駅設置事業について、登録する民間施設（民間事業者）の事業への理解と反応について など

【令和6（2024）年8月6日（火）～8月8日（木）】

自治体	調査項目
東京都世田谷区	子ども・子育てにかかる環境整備について、子どもたちを見守る環境作りに携わる方への周知と課題、地域住民の人材育成・確保、意識醸成の取組について など
東京都豊島区	としまキッズパークでのインクルーシブ遊具についての設置規定や選定方法、今後の設置見通し など
東京都江東区	子ども家庭支援センターみずべの取組について、施設利用者への配慮する点、商業施設に併設した経緯、利点と課題について など
埼玉県東松山市	就学相談調整会議の取組と課題について、保護者の相談内容や課題、インクルーシブ教育を推進する環境整備について など

## 2 市担当部局との意見交換（令和5（2023）年10月20日）

### 地域で支える子育て環境

#### 質疑項目

- ① 貧困対策をどのように取り組むのか（福祉課、子育て支援課、学校教育課）
- ② 地域での子育て支援を進めるために（子育て支援課、学校教育課）
- ③ 各種団体と行政の連携を進めるために（文化・生涯学習課）

### インクルーシブ教育

#### 質疑項目

- ① インクルーシブ教育に関する現状の把握（学校教育課、保育課）
- ② インクルーシブ教育を促進するために（学校教育課）

## 3 元気館視察及び子ども未来部と意見交換（令和6年8月19日）

### 質疑項目

- ① ジングルキッズでの取組について
- ② げんきっずひろばの利用者について
- ③ イベントについて
- ④ ファミリー・サポート・センター事業について
- ⑤ 早期療育事業について

## 4 市民との意見交換会（抜粋）

テーマ「子どもを取り巻く環境の充実～どうする？あなたの地域の子育て～」

令和5年11月23日 柏崎市産業文化会館

令和6年4月22～25日 各中学校区コミュニティセンター

- ・ 子ども食堂への行政の積極的な関与を望む。
- ・ 屋内外の子どもの遊びの場を増やしてほしい。
- ・ 市の子育て情報（HP等）に、コミセンでの子育て広場や、子育てサークルなど、民間の活動に関する情報もリンクしてほしい。
- ・ 病児保育の利用手続をもっと簡素化できないか。
- ・ 親の経済力によって塾へ行ける行けないという格差が生まれるが、このことにも経済的な支援がほしい。
- ・ 地域での見守り看板の表示をしている。そのことで地域の防犯意識の高さを発信し、子どもの登下校時の防犯を未然に防げると思い取り組んでいる。
- ・ 交通立哨は下校時（夕方）にも必要ではないか。
- ・ 新一年生にGPS付防犯ブザーの配布を考えてもらえないか。
- ・ 冬の遊び場については、コミセンを活用する案もあるのではないか。

# 委員の考え

## 1 地域で支える子育て環境

**委員A)** ・少子化により、子どもの声が聞こえない地域もあるので子育て支援策には手厚い支援策、補助金を投入してはどうか。

- ・子育ては地域全体で、子ども見守りを確立してはどうか。
- ・保護者と子どもたちの交流ができる環境づくりの確立

**委員B)** ・子どもを保育し見守る大人の目と手（人員）を増やし、どの施設も子どもたちが安心して過ごせる環境を整える

- ・初めての出産による不安や、失業、生活苦など、さまざまな問題を抱えた家族に対し、産前・産後サポート事業などきめ細かな相談体制、個別の訪問活動などの支援の一層の拡充が必要。
- ・確実に休暇をとれるように、休暇申請・休暇取得を事業所等が進められるよう、行政の働きかけを強める。

**委員C)** ・地域においての子どもたちの居場所づくりが必要

- (ア) 子ども食堂・みんなの食堂（居場所づくりとしての機能）の強化支援
- (イ) 遠くの遊び場より近くの遊び場（地域ごと）の充実（公園整備への更なる支援・コミセンで遊ぶ機能への支援）
- (ウ) 放課後子ども教室としてのコミュニティセンターの活用検討

**委員D)** ・地域、保護者、行政間の横断的な連携の構築

- ・子どもの居場所づくりの確保
- ・子どもを見守るボランティア活動の充実

**委員E)** ・親の負担軽減、情報交換ができる場（場所や機会、機能）を整備し、虐待防止や健全な子育て推進に資する。元気館とキッズマジックの機能を整理する。

- ・民間の自主的な活動、共助の活動が継続できる支援やネットワーク作りをバックアップする。（補助金や、連絡会開催など）

**委員F)** ・こども食堂への行政としての直接的な支援

- ・無料塾の開設
- ・地域で安心して子どもを遊ばせられる場の整備

**委員G)** ・中高生の居場所作り

## 2 インクルーシブ教育

**委員A)**・多様な人との関わりながら、相手のことも自分のことも尊重できる社会を形成する体制づくりを確立する。

- ・障がい者が困難を乗り越えられる居場所づくりが必要
- ・インクルーシブ教育が中々浸透していない状況を、皆さんに理解してもらう戦略が必要

**委員B)**・学ぶ場で様々な支援が必要な子どもたちへ、十分な人員の確保ができる体制と予算の確保が必要と考える。

- ・インクルーシブ教育の啓発活動をさらに市民へ向けて行う事が必要と考える。
- ・障がいの有無ということではなく、学ぶことへの困難をどう解決するのかという視点で教育現場の対応を考え、整えていくかということに力を入れる事が大事ではないか。

**委員C)**・まずはインクルーシブ（全てを包括する・包み込む）と言う事理解・周知が必要

障がいの有無や人種・性のみならずギフテッド（突出した能力）等についても

- (ア) 保護者への理解・周知強化
- (イ) 教育現場での理解・周知強化
- (ウ) 広く市民への理解促進（共生社会へ）

**委員D)**・インクルーシブ教育システム構築に向けた窓口の設置（周知、啓発、相談、問題解決への取組強化支援室など）

- ・多様性を認め合う共生社会の実現と教育への理解促進を図る
- ・インクルーシブ教育システム推進プログラム策定（教員、保護者、児童生徒、地域ボランティアへの研修会の実施。人材育成。連携強化など）

**委員E)**・インクルーシブ教育に対する基本的知識の理解促進が、地域住民にも必要であり、普及啓発を促進する必要がある。

そのための取り組みの一つとして、多様化や合理的配慮をテーマとした障がい者や外国人との交流を兼ねた研修かイベントを行う。

**委員F)**・インクルーシブ教育の取組について毎年出される「学校教育実践上の努力点」に記すこと、及び教職員の意識を高めるための研修の実施

- ・学校現場における環境整備
- ・ギフテッドチャイルドへの理解促進と適切な対応

**委員G)**・市内遊び場、学校校庭へのインクルーシブ遊具の設置

- ・学校教育現場における指導補助員、介助員の更なる充実
- ・発達に不安がある子供の入学時への保護者、教育委員会、学校職員の3者面談の実施（必要であれば医師も）

本日の意見交換はテーマである「**子どもを取り巻く環境の充実**」に対する文教厚生常任委員の考えについて、皆さまのご意見を伺いたいと考えております。  
よろしくお願ひ申し上げます。

委員長・春川 敏浩      副委員長・五位野 和夫  
委員・星野 幸彦      三嶋 崇史      西川 弘美      重野 正毅      上森 茜